

# ゆいちゃんはシリタガリーノ!! ネコは大切なお客さん 星木レイ



# 浄土宗コドモタイムズ

第65号

発行 浄土宗児童教化連盟

発行人 齊藤 一光  
〒873-0002 大分県杵築市大字南杵築371 正覺寺内  
TEL 0978-62-3063  
FAX 0978-68-8301

## 秋カマキリ

カマキリが壁にへばりついて  
動かない  
街路灯がしらじらして  
風もない夜  
カマキリが死んだように  
動かない  
オイッ、生きているの  
顔を近づけて  
フーツと息をかけてみたが  
動かない  
トントンと壁をたたいたが  
ちつとも動かない  
タマゴを産んで  
もう、死ぬばかりか  
オイッ、どうしたんだよ  
ボクだって生きてるんだ



詩・絵 今井 康隆

# 「水セツタとバキュームカー」

緑石 ナオ

幼いころ、弟と私は夏休みになると、いなかのおばあちゃんのところは何日も泊っていた。

川遊びがとても楽しくて、お天気の日は毎日川に行きたかった。小さい小さい川だから、私と弟だけで行っても全然大丈夫ぶなくらいだったのに、おじいちゃんは毎回ついてきた。

「今日も仕事にならんなあ〜」  
と言いながら。

小麦粉を水でコネコネしたのを鉢につけただけで、小さな魚がつれる。川原の石をひっくり返して石にくっついていて虫をエサにすると、もつとよくつれるけど、虫がこわくて私は小麦粉をコネコネにしていた。弟はおじいちゃんに虫をつけてもらっていた。ズルイーといつも思っていた。

ゴムぞうりのまま川に入る。水がすごく冷たくて、すぐに上がりたくなる。弟はバシヤバシヤ足を動かすので、ゴムぞうりを流してしまつた。川の流れに乗ってユラユラ流れてゆく。おじいちゃんは、取りに行こうとしたけれどあき



らめて、

「また水セツタ買ってあげるよ。追いかけたらあぶないんやで」と言った。

「水セツタ?」

そうか、おじいちゃんはゴムぞうりを水セツタと言うんだ。水セツタは流しても追いかけたらダメなんだ。私と弟は川に行かない日でもいつも水セツタですごした。水セツタは足がすずしくて気持ちいい。川のおいも山のおいもするおじいちゃんの家。

その日は水セツタをはいて、家の前にいた。何だかとてもくさいトイレのおいがしてきた。山のおいも川のおいもふつとんだ。バキュームカーだ。おばあちゃんちのトイレは流れない。弟がはたらく車のおもちやをたくさん持っていたから知っている。初めて本物を見た。弟が「くさい、くさい」とおもしろがって大きな声で言った。おばあちゃんは、

「これ! これ!」  
と頭を下げた。運転していない方のおじさんが、



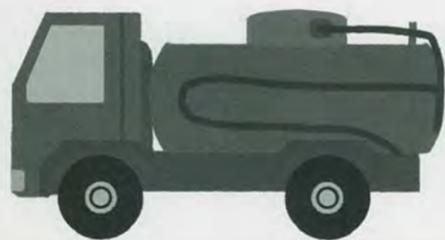
「あんたらのウンコやシッコやんね」と、ちよつとこわい顔で言った。私は弟のうでをつねった。

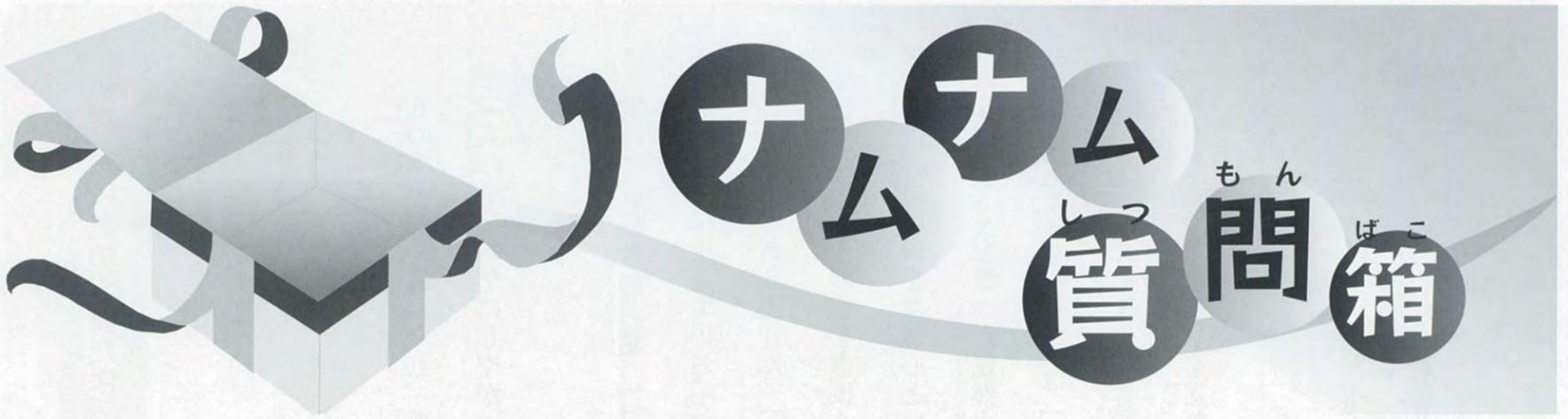
「すみませんよ〜ほんま」と、おばあちゃんはまた頭を下げた。

バキュームカーがホースを巻いて発進しようとした時、運転しているちよつと若いおじさんが車の窓から、

「くさいから取るんやで。ほんで、くさくても取るんや」と、弟と私に言った。おこつていなかった。学校で先生が大切なことを言う時の顔に似ていた。

今、おとなになって、夏が来るたび、あのいなかの家を思い出すたび、ゴムぞうりを見るたび、この言葉を思い出す。大切にしたい言葉です。





質問

大切なおばあちゃんが亡くなりました。とても寂しく悲しかった。亡くなる時  
 おばあちゃんは寂しくなかったのでしょうか

(奈良県・小学二年・女子)

答え

大切な方を亡くすことはとてもつらく悲しいことです。亡くなったおばあちゃんも、みんなとの別れはつらく悲しかったことでしょう。

お経には、人が亡くなる時に自分の家族や財産や地位などと離れたくないと強く思うと記されています。またこの肉体とも離れたくないとも思い、死んだあとどこに行くか不安も出るといわれます。

しかし阿弥陀様が自らお迎えくださり、そのお姿を目の当たりにしたとき、それらの不安や思いは無くなり仏の世界極楽浄土へと生まれることができるといえます。

目には見えない、声も聞こえないけれども、おばあちゃんはちゃんと残った皆さんの事を今も思い、守ってくださいています。「おばあちゃん、これからも見守ってください」そのような想いで「南無阿弥陀仏」とお称えしましょう。



これも仏教の言葉だよ!

「コケ」

人の事をバカにしたり、悪い態度をとると「人の事をコケにしやがって!」と怒られます。

実はこれ仏教の言葉。「コケ」といってもお寺などに生えている「コケ」の事を指しているのはありません。「虚仮」と書き、ウソやいつわりの心を虚仮心といいます。虚仮心の反対を至誠心といいます。浄土宗を開いてくださった法然上人のお師匠さま、中国の善導大師さまは「至」とは「真」、「誠」とは「実」つまり至誠心とは真実心。真実の心で日暮らしを送れるように心がけましょう。



ちがいがし

みんなよう  
考えよう



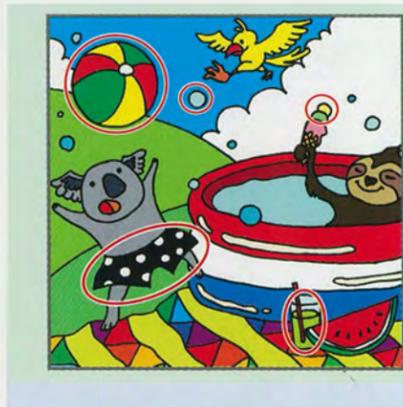
絵:岡本こずえ



お知らせ

みなさんからの記事お待ちしています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品もお待ちしています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

送先は 〒873-0002 大分県杵築市大字南杵築371 正覺寺内 浄土宗児童教化連盟事務局  
TEL 0978-621-3063 FAX 0978-688-8301  
感想もいっしょに書いてくださいね。



前回の答え

右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。  
ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。  
しめきり3月15日です。  
送先 〒873-0002  
大分県杵築市大字南杵築371 正覺寺内  
浄土宗児童教化連盟事務局  
TEL 0978-621-3063  
FAX 0978-688-8301

ぶくぶく編集室



藤井聡太 四冠の活躍で将棋が話題になっていきます。みなさんの中にも将棋をされている人がいるではありませんか。四冠という四つのタイトルを勝ち取ったということで、藤井さんは竜王・王位・叡王・棋聖の四つのタイトルを持っています。本来であればすべてのタイトル名をつけて呼ばないといいませんが、長いのでまとめて四冠と呼びます。  
将棋の対局はあいさつに始まり挨拶に終る礼儀を重んじます。対局を始める時には「お願いします」と頭を下げ、負けた方は「負けました」と宣言して勝負が終了します。また次の一手をよく考えるため頭のスポーツともいわれます。プロのタイトル戦は2日かかりで一局の対戦をするほど体力を必要とします。  
将棋の特性として「集中力」「考える力」「我慢する力」「礼儀作法」「相手への配慮」などが身につくといいわれます。駒のならば方や動かし方など覚えることはありますが、楽しんでみてください。